

組立説明書

自転車 折りたたみ小径車 フリーフィットステム タイプ

20171018

要保管

注意：製品の組立て前に必ずお読みください。

- ・初期不良対応期間は、お買い上げ日もしくは商品到着から7日間です。
- ・防犯登録は法律により義務化されています。お買い上げの自転車は防犯登録を行ってからご使用下さい。
- ・自転車は点検整備が必要です。定期的に安全点検を行って下さい。また、購入後1ヶ月、半年から1年毎に定期点検を受けて下さい。
- ・点検や整備、防犯登録（解除）の費用はお客様のご負担となります。
- ・販売証明書は、文字通り店舗がお客様へ自転車を販売したことを証明するものです。販売証明書は、自転車を購入された販売店へご依頼下さい。
- ・お近くに取扱店がなくインターネットショッピングでお買い求め頂いた場合でも、必ず自転車整備有資格者のいる店舗で点検をうけてください。店舗での点検を行っている場合に限り、製品保証対応期間が1年間となります。詳しくは取扱説明書をご覧ください。

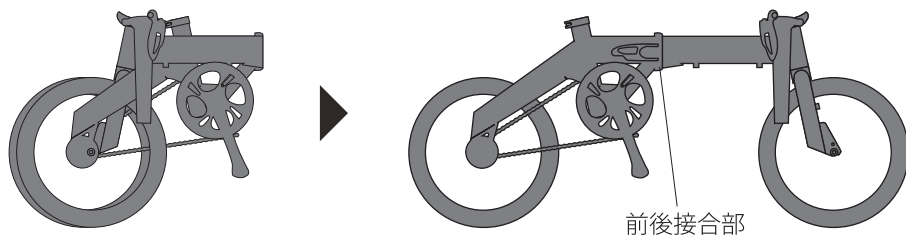
組立て手順

本製品は組立てが必要です。組立てには知識と技術が必要となります。
本書をよくお読みの上、手順に従い組立てを行ってください。

注意

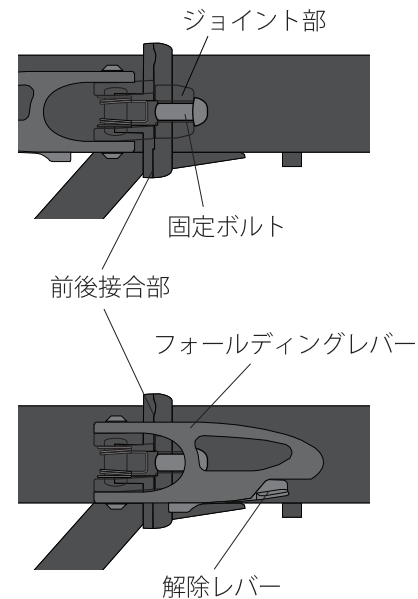
自転車は点検整備が必要です。組立てをご自身でされる場合でも、ご乗車前には必ず自転車整備有資格者のいる店舗で点検整備を受けてください。

1 折りたたみフレームを開く



フレームの前側と後ろ側を持ちながら、折りたたまれたフレームを開きます。
このとき前後接合部に指や各部パーツを挟まないよう注意してください。

2 折りたたみフレームを固定する



折りたたみフレームを開き一直線に伸ばします。このときフレームの前後接合部がきちんと設置していることを確認したら折りたたみフレームを固定します。

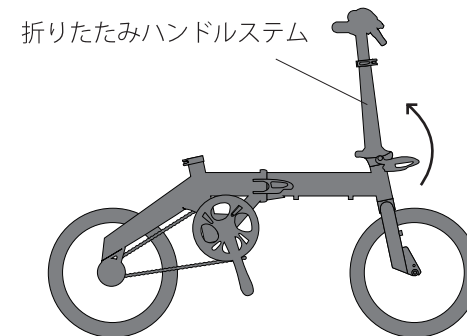
まず、左上図のようにジョイント部に固定ボルトをはめ込みます。奥までしっかりとハマ込まっていることを確認したら、左下図のようにフォールディングレバーを前方へ倒し、固定ボルトに重なるように押し込みます。
このとき、フォールディングレバー下部にある**解除レバーがカチッと音がする**まで締め込んでください。

締め込み後、何度かフォールディングレバーを動かして、固定が確実にされていることを確認してください。

警告

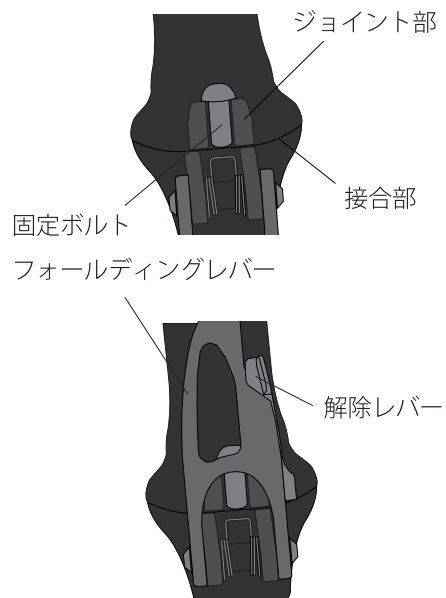
乗車するには、必ずフォールディングレバーが確実に固定されているか確認してください。固定力が不十分のまま乗車されると走行中にゆるんだり、外れる可能性があります。大変危険です。

3 ハンドルステムを固定する



ハンドルを持ち上げ、折りたたみハンドルステムを左図のように起こします。
このときブレーキやシフターに接続されているワイヤーを接合部にはさまないように注意してください。

3 ハンドルステムを固定する (つづき)



折りたたみハンドルステムを固定します。固定の際には必ず、接合部が設置していること確認してください。

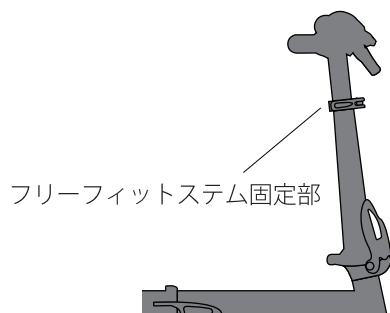
まず、左上図のようにジョイント部に固定ボルトをはめ込みます。奥までしっかりとめ込まれていることを確認したらフォールディングレバーを上方へ起こし、左下図のように固定ボルトに重なるように押し込みます。このとき、フォールディングレバーに備え付けられた**解除レバーがカチッと音がする**まで押し込んでください。

押し込み後、何度かフォールディングレバーを動かし、固定が確実に行われていることを確認してください。

警告

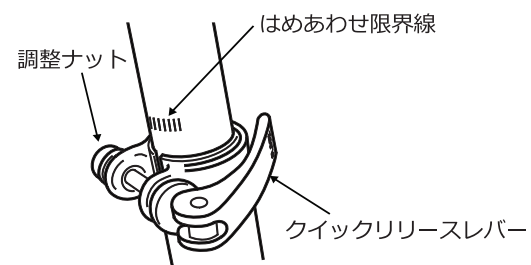
乗車する際には、必ずハンドル各部が確実に固定されているか確認してください。ゆるみやガタツキがある状態で乗車されると走行中にゆるんだり、外れる可能性があり大変危険です。各部にゆるみやガタツキがある場合は、上記手順の確認を行い、再度固定を行ってください。

4 フリーフィットステムを固定する



折りたたみハンドルステムの上部にあるフリーフィットステム固定部を操作し、ハンドルの高さを調整します。

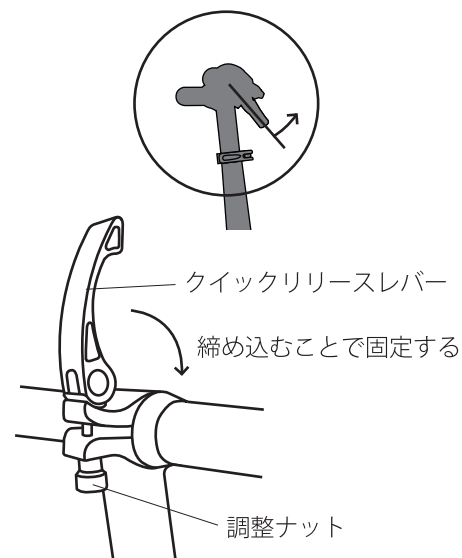
4 フリーフィットステムを固定する (つづき)



ハンドルをお好みの高さに設定し、クイックリリースレバーで確実に固定します。このとき、ハンドルの高さはハンドルポストに刻印されている**はめ合わせ限界線が見えない位置**に設定してください。

また、固定力が弱いと感じた場合は、クイックリリースレバーをゆるめた状態で反対側にある調整ナットを回して固定力を調整してください。

5 ハンドルの角度を調整する



ハンドルステム上部にあるクイックリリースレバーを開放し、ハンドルの角度を調整します。ハンドルをお好みの角度に設定し、クイックリリースレバーで確実に固定します。

また、固定力が弱いと感じた場合は、クイックリリースレバーをゆるめた状態で反対側にある調整ナットを回して固定力を調整してください。

ハンドルの固定後、何度かハンドルを上下に動かし、固定が確実に行われていることを確認してください。

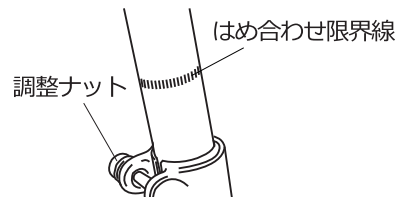
警告

乗車する際には、必ずハンドル各部が確実に固定されているか確認してください。ゆるみやガタツキがある状態で乗車されると走行中にゆるんだり、外れる可能性があり大変危険です。各部にゆるみやガタツキがある場合は、上記手順の確認を行い、再度締め付けを行ってください。

6 シートポストを固定する



シートポストをフレームに取り付け、サドルの高さを調整します。
サドルをお好みの高さに設定し、クイックリリースレバーで確実に固定します。
このとき、サドルの高さはシートポストに刻印されている**はめ合わせ限界線が見えない位置**に設定してください。



また、固定力が弱いと感じた場合は、クイックリリースレバーをゆるめた状態で反対側にある調整ナットを回して固定力を調整してください。

⚠ 注意

サドルの高さを調整される場合は、シートポストに刻まれた「はめ合わせ限界線」を超えて固定しないでください。限界線を超えて乗車されると破損の恐れがあり、大変危険です。

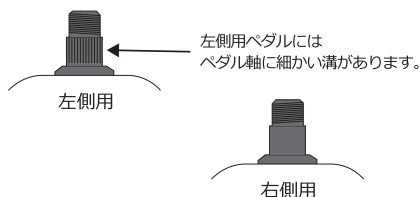
7.1 ペダルを取り付ける (通常のペダルの場合)



ペダルを取り付けます。ペダルには右側用(Rの刻印、ペダル軸に溝なし)と左側用(Lの刻印、ペダル軸に溝あり)があります。取り付け前にペダルの左右に間違いがないか確認してください。

右側用ペダルはクランクに対して**時計回りで取り付け**、左側用ペダルはクランクに対して**反時計回りで取り付け**ます。

ペダルの取り付けは、最初は手締めで取り付けてから、最後に付属の工具を用いて確実な固定を行ってください。

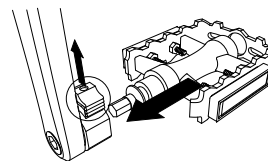


⚠ 注意

ペダルには右用と左用があります。右用と左用では、ペダル軸のねじの切り方が異なりますので、ペダルの取り付けの際は、ペダルの左右をよく確認のうえ取り付けを行ってください。

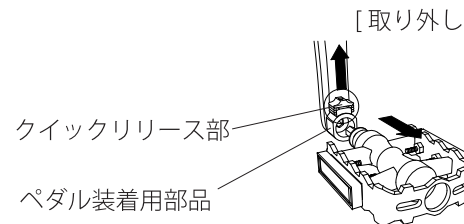
7.2 ペダルを取り付ける (クイックリリースペダルの場合)

[取り付け]



クイックリリースペダルを取り付けます。ペダル軸の六角部分とペダル装着用部品内の六角をあわせ、クイックリリース部を引き上げながら奥まで差し込み、ペダルを固定します。

[取り外し]



装着後、何度かペダルを引っ張り、ペダルが確実に固定されていることを確認してください。

⚠ 警告

ペダルの固定は確実に行ってください。固定が不十分な状態で乗車されると、走行中にペダルのゆるみや脱落する可能性があります。大変危険です。

以上で本製品の組立ては完了です。

乗車前に各部にガタツキやゆるみがないか、部品はしっかりと固定されているかを十分に確認してください。
組立て・調整方法については当社WEBページ上にて案内しておりますので、別途ご参照ください。



FAQ・よくあるご質問
各部の調整方法

http://www.doppelganger.jp/after_service/faq/

⚠ 点検・調整チェックリスト (取扱説明書 p.18) に基づく点検を行って下さい。

- ・点検時期以外でも異常を感じた場合、点検・調整を行って下さい。
- ・お買い求め後 2ヶ月以内に第一回目を、第二回目以降は 1年毎に実施してください。
- ・点検・整備はお早めに自転車販売店 (自転車整備有資格者) に依頼されることをおすすめします。(有料)
- ・異常を感じた場合は直ちに使用を中止し、製品を購入された自転車販売店にご相談されるか、弊社サポート窓口までご連絡ください。